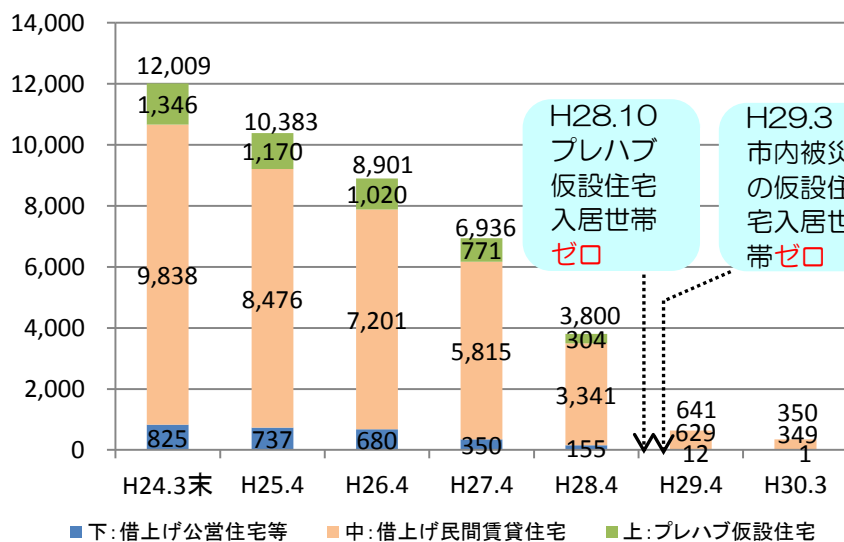


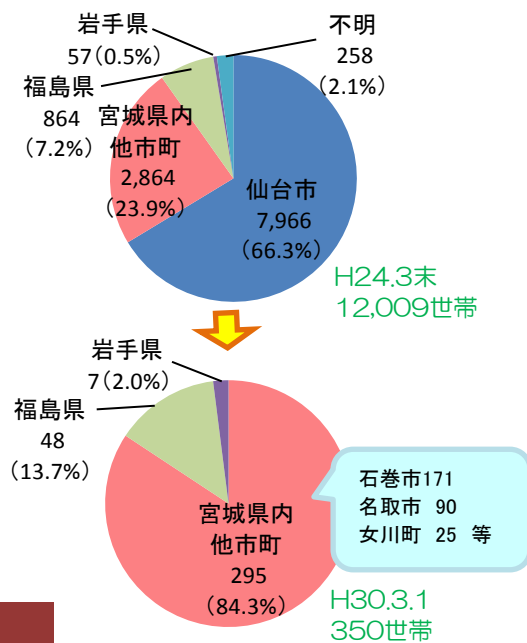
入居世帯の推移と震災時の居住地別入居状況

- 市内の仮設住宅入居世帯は350世帯となり、ピーク時（平成24年3月末）の2.9%まで減少しています。
- 市内で被災された世帯は平成29年3月末までに全て再建され、仮設住宅には市外で被災された世帯のみが入居されています。
- プレハブ仮設住宅は平成29年3月末までに全て解体され、市内の仮設住宅入居世帯は全て、借上げ民間賃貸住宅等の「みなし仮設住宅」に入居されています。

入居世帯の推移



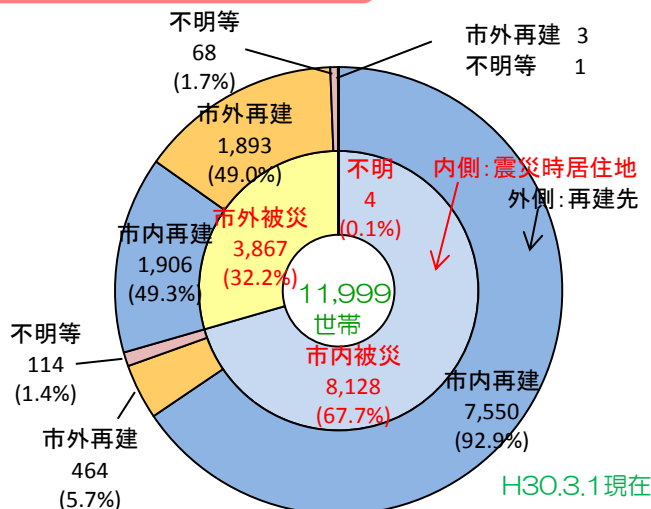
震災時の居住地別入居状況



入居世帯の住まいの再建

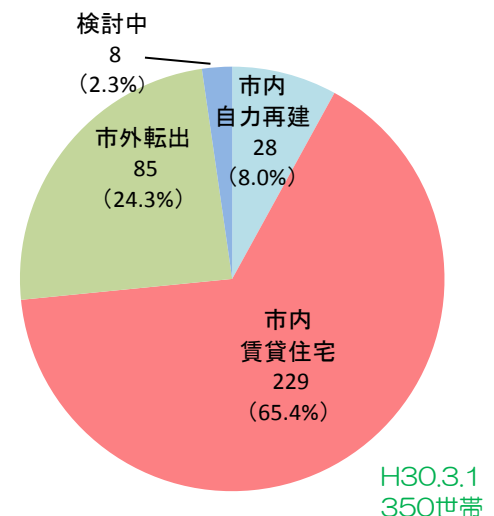
- これまで再建された世帯のうち、約79%の世帯が仙台市内で再建されています。（市内被災世帯の約93%、市外被災世帯の約49%が仙台市内で再建）
- 現在仮設住宅に入居されている世帯のうち、約73%の世帯が仙台市内での再建を希望されています。

震災時の居住地別再建状況



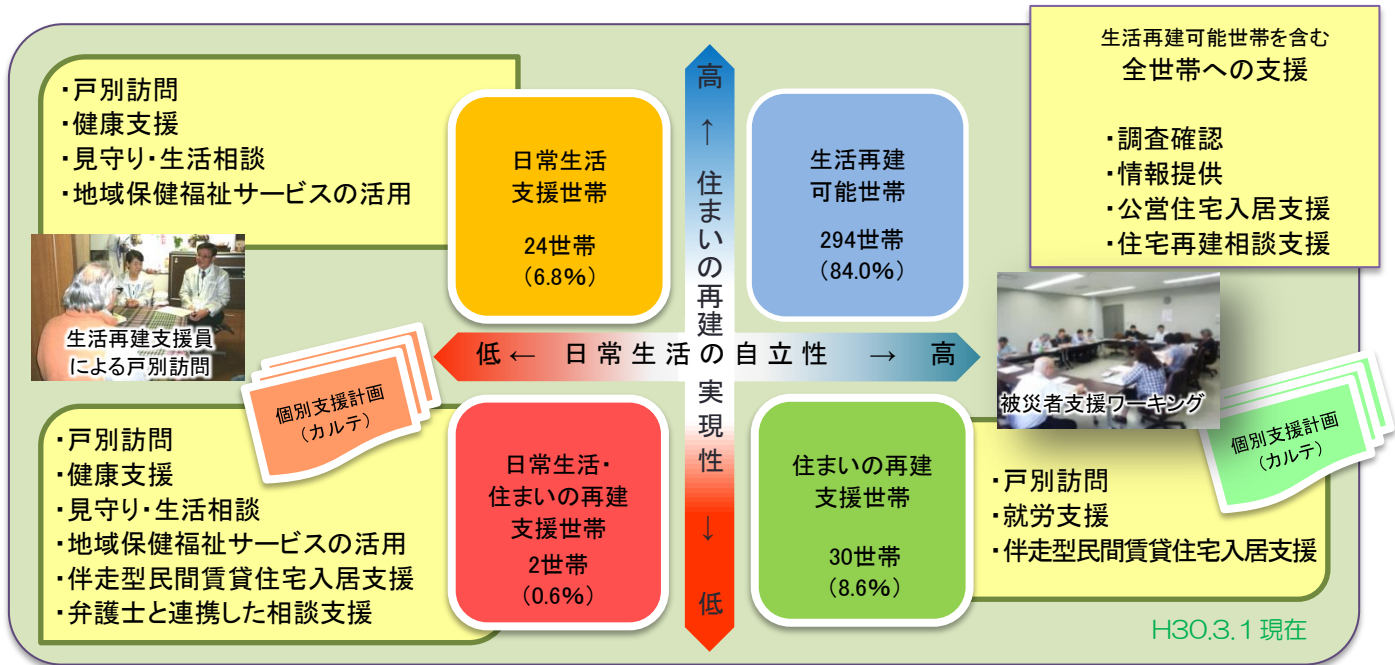
※H24.3末(ピーク時)以前に再建した世帯を含む。

仮設住宅入居世帯の再建方針



入居世帯への支援

新たな生活の場へ供与期間内に確実に移行できるよう、戸別訪問等を通じて課題を抱える世帯に対する移行支援に取り組んでいます。



企画展「3.11現場の事実×心の真実 結～消防・命のプロが見た東日本大震災」を開催しています



せんだい3.11メモリアル交流館

Sendai 3/11 Memorial Community Center

東日本大震災の記憶と経験を継承するためのさまざまな取り組みを有機的に結び、未来や世界へとつないでいく拠点「せんだい3.11メモリアル交流館」において、企画展「3.11現場の事実×心の真実 結(ゆい)～消防・命のプロが見た東日本大震災」を4月22日(日)まで開催しています。



震災時に津波被災現場の最前線に立っていた「仙台市若林消防署」と共催し、消防署職員がつづった未公開の手記、隊員へのインタビュー、沿岸部の救助活動等に使用された資機材のほか、発災後に非常時体制となった消防の活動記録などを展示しています。手記には、「何も考えるな、目の前にある出来ることだけに集中しろ」など、葛藤しながら職務を遂行した消防署員の思いが込められています。



3月10日には関連イベントの「知っ得(とく)防災！」も開催され、大人から子供まで幅広い世代の方が参加し、楽しみながら防災について学びました。



開館時間 10:00～17:00
 休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)
 祝日の翌日(土、日曜日、祝日を除く)
 年末年始、臨時休館日
 地下鉄東西線荒井駅舎内(仙台市若林区荒井字杏形85-4)
 TEL 022-390-9022
 E-mail office@sendai311-memorial.jp
 Web http://sendai311-memorial.jp/